# 第3回みんなでモルック 一般の部 レギュレーション（競技規則）

本大会は、日本モルック協会公式ルールガイドブックを基本とし、主催者が定める以下のルールをみんなでモルック「一般の部」特別ルールにより実施する。
（ただし、予選に関してはモルッカーリ関係（踏み越え等）のルールはやさしめに判断）

【特別ルール】
1. 上投げによる投擲（とうてき）は禁止とする。
2. コートの広さは4.5m（秋津サッカー場）または5m（秋津小学校）×12mとし、スキットルはモルッカーリから3.5mとする。
3. 1チームは3～4名とし、セットごとに参加する人数を決める。セット中での変更はできない。
また、複数チームに所属することは認めない。
4. 審判は各コートのスポーツ推進委員によって行う。
5. 審判は投擲を行う選手名、現在の点数、ファウルの回数を読み上げる。また、各セットの時間を計測する。
6. 当日、欠席により2名以下になった場合、参加することはできるが、決勝トーナメントへ進出することはできない。
7. モルッカーリの踏み越えに対して、チーム単位で1度目は、「注意」とする。2度目以降から「フォルト」とする。
また、故意の踏み越えと判断される場合、審判判断より失格とする場合がある。

予選ルール
・1コートに3チームで、3セットを行う。
・50点となったチームが出た時点で1セット終了。50点をオーバーした場合は25点に戻る。
・投擲の順番は、ドローショットで決める。
2セット目は1セット目で2番目に投げたチーム、3セット目は次のチームが最初に投げる。
A → B → C　B → C → A　C → A → B
・**1セットの**投擲回数最大12回（12ターン）
・**1セット**20分制　各コートの審判が時間を計測する。
アナウンスがあった時点のターンを最終ターンとして試合を終了する。
・**1セットの終了は、①50点になった。②12ターンした。③20分経過**の、いずれかでそのセットは終了する。
・3セット終了後、以下のとおりで順位を決定し、1位チームが準々決勝進出とする。2位・3位チームは交流戦へと進む。
【順位決定方法】
① 3セットのうち、50点ピッタリを獲得したセット数が多いチームを上位とする。
② ①が同じ場合は、3セットの合計得点が高いチームを上位とする。
③ それでも同点の場合は、じゃんけんにより勝ったチームを上位とする。
④ 各コートの1位になった8チームは3セットの合計得点により、1～8位の順位を決定し、決勝トーナメント表の配置を決定する。
⑤ ④で合計得点が同点の場合はじゃんけんにより勝ったチームを上位とする。

# 第3回みんなでモルック　一般の部　レギュレーション（競技規則）

★ドローショットとは・・・チームの代表者が3.5mの位置にあるスキットルに向けて同時に投擲し、
そのスキットルに近いチームが投擲の順番を決めることができる。
スキットルを倒したチームは投擲の順番の決定権を失くす。

交流戦ルール

・1コートに2チームで2セットを行う。
・50点が出た時点で1セット終了。50点をオーバーした場合は25点に戻る。
・投擲の順番は、ドローショットで決める。2セット目は逆のチームが最初に投げる。　A → B　　B → A
・**1セットの**投擲回数最大12回（12ターン）
・**1セット**20分制　各コートの審判が時間を計測する。
アナウンスがあった時点のターンを最終ターンとして試合を終了する。
・**1セットの終了は、①50点になった。②12ターンした。③20分経過**の、いずれかでそのセットは終了する。

準々決勝、準決勝ルール

・1コート2チームで2セット先取の3セットを行う。
・投擲の順番は、ドローショットで決める。
2セット目は逆のチーム、3セット目は2セット終了した時点での合計得点が高いチームが選択権を得る。
・**1セットの終了は、①50点になった。②12ターンした。③20分経過**の、いずれかでそのセットは終了する。
・先に2セット先取したチームが準決勝・決勝進出とする。準決勝の敗者は、3位決定戦へと進む。

決勝・3位決定戦ルール

・1コート2チームで決勝戦（3位決定戦）を行う。
・先に2セット先取したチームが優勝（3位）。
・投擲の順番は、ドローショットで決める。
2セット目は逆のチーム、3セット目は2セット終了した時点での合計得点が高いチームが選択権を得る。
・投擲回数無制限、試合時間無制限（運営の限界まで）で行う。

★【その他　お願い】
・競技中の作戦会議時間についてはルール化しないが、行う場合は、試合進行に配慮し、短く行う。